



北のシュプール

第484号

発行 北海道勤労者スキー協議会機関紙部 編集責任者 金濱 茂
 札幌市西区山の手3条7丁目4-3 tel&fax:011-784-3272 郵便振替 02700-7-48231
 ホームページ: <http://www.wsah.info/> e-mail: wsaj.hokkaido@gmail.com

第20回夏季クラブ交流会 in 十勝

2023年9月2, 3日(土・日) 於)然別別湖畔温泉 風水

現地大平原スキークラブ事務局 佐藤久輝



コロナの影響でクラブの活動が制限され、道スキー協の行事もまた中止や延期となる状況が続いていました。夏季クラブ交流会の前回開催は2019年。4年経っても感染者が多いという不安のなか11クラブ43名の参加での開催でした。

昨年の秋からホテルの予約、今年4月頃から各種目をどうするかクラブで話し合いチラシ作成に取り掛かりました。種目コースの下見も兼ねて鹿追町でパークゴルフ例会、役場の観光課へ行ってパンフレットの用意のお願い、体験コースの施設先への申込、オプション企画の連絡と申込、ホテルとの打ち合わせなどを進めました。開催当日の参加者に渡す景品は十勝らしい物品で喜んでもらえるものを選別・買出し、それから仕分けして袋詰め作業、コース別・クラブ毎の名簿の葉の作成をして本番に備えました。9月2日3日の天気予報では雨に降られないが、連日続いた猛暑は本番でも?と心配でしたが涼しい風も吹いて天候に恵まれました。2日の開会から各種目別にスタート。私がリーダーをした登山では東ヌプカで全員がナキウサギを身近で逢えることができ喜んで満足した様子を見てホッと安心をした次第です。夕食交流会では佐々木副会長の乾杯のあと、クラブ紹介、各コースから代表で参加の感想、豆つかみゲーム、抽選会、武田副会長の締め挨拶で終わり、次の日のコースに参加する体力温存としました。

3日は朝から晴天となり午前中に各コースを楽しみ午後2時閉会として無事に終了することができたことに安堵しています。みなさんが二日間楽しまれたようなので現地クラブとしてもやりがいがあったと思っています。たいへんお疲れ様でした。種目は登山、トレッキング、ゴルフ、パークゴルフ、乗馬、カヌー、エアトリップ、牧場見学・体験、でした。

幽霊に翻弄されたゴルフ組 北のメルヘン 山口 勝弘 記



ゴルフは紳士のスポーツ。そのプレイ技術、プレイ条件の確認など、すべてがプレイヤーの責任で運営されます。舞台は十勝が誇る「北海道クラシックゴルフクラブ帯広」。36ホール立派に整備された名門コースです。参加者は4名。そこで、摩訶不思議、不可抗力の事態が私たちを襲ったのです。記念写真を撮り、意気軒昂にスタートしようとする、一人のプレイヤーの「パター」が消えたのです。探しに探しまくってバッグ置き場に戻ると、なんと、そこに件のパターが鎮座していたのです。これは幽霊の仕業としか思われません。さらにプレイを終えていざ帰ろうとすると、今度は別の一人の「携帯」が消えたのです。これも探

しまくって別のスマホから電話を入ると、恨めしそうな声で音を発したのです。そう、他人のゴルフバッグに収められていたのです。これも幽霊のいたずらとしか考えられません。そんなこんなあったものの、無事プレイを終え、プレイヤー成績も確認。幽霊の今夏最後のいたずらに協力もでき、楽しい思い出をつくった一日でした。

エアトリップに参加して ぎやろっぷスキークラブ 荒川 明子 記



2日目の9時から5人で参加しました。

会場は鹿追自然ランド。森林が生い茂る自然いっぱいの中で、木々の上にはワイヤーが貼られており、不安と期待で胸が高鳴ります。

始めにガイドさんからレクチャーをうけ、ヘルメットやハーネスなどの安全装備を装着。5ヶ所あるエアトリップ地点まで、ガイドさんの鳥類や昆虫、植物や動物などの説明を聞きながら歩きます。

1本目は練習でしたが、池の上を飛ぶコースで初フライトは足が前に出ません。経験者の大平原横塚会長から、「普通に歩いていくとそのままフワっと宙に浮くから。」と声をかけてもらい無事宙を滑走できました。本数を重ねる程、難易度が

増し、時速40キロのスピードだったり、楓の種が落ちるようにクルクル回転したりとか、最後はモモンガになって、地面の獲物を見つけるロングコースでした。

最初から最後までスリル満点で飽きることなく、楽しく遊ぶことができました。

滑走するだけでなく、木漏れ日の中自然愛あふれるガイドさんのお話とともに散策できたエアトリップに大満足でした。

乗馬コース スカディ 石川 芳昭 記



新得の「ヴィレッジ432」での乗馬体験は、私は4年前に引き続いてでした。今回は、ナイスミドルの石川しずえさんと二人でした。しずえさんは、今回が初めてだったので、前回の体験経験を知ったかぶりして話しながら、私は前回より精神的余裕をもって臨みました。乗り方やタツナなどの持ち方・操作などのレクチャーを受けて、ガイドの馬を先頭に50分位のコースに出ました。天気も良く160cmの馬の背中から見る景色は何度みても素晴らしいものでした。よく調教されている馬でしたので、安心して乗れました。9900円はちょっと高い気もしますが、普段できない体験で、しずえさんも喜んでいました。

ジオパークトレッキング 1日目 ぎやろっぷスキークラブ 三浦 学 記



開会式が行われた鹿追道の駅を車6台で出発後、先ずはおしゃれなレストランで昼食をとり、東西のヌプカウシヌプリのビューポイントへ。リーダーの小倉さん(大平原)より、十勝の面積は北海道で1番広く全国で7番の岐阜県と同じくらいである事、十勝平野、十勝川についてなど色々と解説していただきました。然別湖へ向う途中の扇ヶ原展望台では十勝平野の成り立ちについて解説していただきました。十勝平野の西側半分が4万年前の支笏火山噴火による火山灰が10m以上降り積もってできていたとは驚きです。千畳崩れのパークキングに車を停めて駒止湖周辺を30分ほど歩

きました。ナキウサギには出会えません(お尻だけちらっと見えたそう)でしたが、苔と樹木がまるで手入れされたお庭の様で素晴らしいところでした。道道を駒止湖を眺めながら歩いて車に戻りホテルでゴール。景色を堪能し、色々と学習し、適度な運動と素晴らしいジオパークトレッキングでした。お世話していただいた大平原の皆様、本当にありがとうございました！

ジオパーク巡り 2日目 江別フリーダム 板垣 尚美 記

然別湖を眺めながら、お隣の湖・東雲湖までの「ジオパーク巡り」。往復4時間だが、山登りではない。アップダウンのない平坦な道を景色を楽しみながら歩く・・・はずでした。

が、参加しての実感「アドベンチャー」コース。確かに長くはないものの坂また坂の細い道は、ふかふかの腐葉土の上に石や岩、木の根や幹がごろごろしていて大きな「段差」も続きます。転ばぬよう必死になっていると、飛び出した枝などが頭に当たるので、気が抜けません。それでも何度か足を止めて、木々の間から透き通った湖水の底の岩や、キラキラ光る湖面、弁天島や遊覧船、カヌーを眺めることができました。足元にはいろいろな苔やキノコがあり、写真を撮って進みました。大きく視界が開けたのは、東雲湖を望むガレ場に着いたとき。木陰の道から明るい太陽の下に出て、リンドウもきれいでした。

帰りのバスの中で、歩数計をみると「28315」。もちろん、ホテル内での歩行も入っているはずですが、登山に行った人の歩数計は15000台。歩き切った私たちって、スゴイ、偉い、大したもんです。おそらく、二度とはできない、貴重な体験でした。ありがとうございました♡

牧場体験 大平原スキークラブ 斉藤 昌子 記



瓜幕の「藤田牧場」に7名で向かいました。

初めに、牛についてのお勉強をお姉さんに教えてもらいました。牛の体のしくみ、牛の一生、牛の一日の生活など知らなかったことなどを教えてもらいました。

その後、牛舎の見学。生まれたての子牛、手を出すとチュッチュッと吸ってきます。出産前の牛の牛舎、搾乳する牛の牛舎など、各々牛舎が分かれているところを見学。間近で見学、「触ってもいいですよ。」と自由に見学しました。

見学後は、バターづくりです。シャカシャカと瓶を振って、振って、振って…。出来立てバターの出来上がり。クラッカーにつけて食べました。

牛乳とアイスも出ました。アイスはとても美味しくて、どこで売っているか聞いてみましたが、販売はしていなくて牧場体験を申し込んだ人だけしか食べられないそうです。

広～い敷地にたくさんの牛、機械化が進み、従業員は4人だそうです。機械がなんでもやってくれるとはいえ、まとめてみるとはいえ、生き物には人の関わりが必要なのかな～と職業柄（職業は保育士です。保育士の担当人数を手厚くしてくれ～）思いました。

牧場体験後は、近くのレストランで美味しいピザとトムヤムクンスープを堪能しました。思いがけず、とても美味しかったです。『ROADHOUSE NEST』というお店です。おすすめです。

※夏季クラブ参加感想文は次号に続きます。

各部からのお知らせです

【組織部より】

2023年9月9日新クラブ誕生しました

- ・クラブ名：ジョイフル・スキークラブ
- ・誕生年月日：2023年9月9日
- ・代表者 立岡一男 ・連絡先 河村真治 ・会員 浜谷洋治

【事務局より】

2023年11月4日 第2回理事会を14:00より札幌エルプラザ（札幌市北区北8条西3丁目）3階 工芸室にて行います。

【教育部より】

2023年11月5日スキーシンポジウムを北海道高等学校教職員センター（札幌市中央区南大通り西12丁目）4階 大会議室にて対面とZOOMにて行います。

受付 9:20より 午前10:00～12:00

テーマ 会員減少問題と指導員、リーダーの果たす役割

講師 小川 洋氏 全国スキー協理事長

講義「指導員規程の運用と安全について」

講師 三浦学氏 道スキー協教育部長

午後13:00～15:00

テーマ 『スキーは楽しい！！ もっと楽しむために...』

講師 マスターズレイサー 澤口 学氏

参加費 指導員研修受講料 1000円 会員 500円

指導員は午前・午後の部受講で指導員研修（理論）終了となります

申込先 h-onodera@jcom.home.ne.jp 小野寺 申込締切10/29（厳守）

振込先 ゆうちよ銀行 記号…19060 番号…29649131

ホッカイドウキンロウシャスキーキョウギカイキョウイクブ